

ちょこっと
ポイント

遠光は子の秋山光朝、小笠原長清らを周辺に配し、同じく子の南部光行を県南部の河内に配するなどして、釜無川・富士川以西の広大な土地をその勢力下に置いた。



1 小笠原長清公館跡

加賀美遠光の次男小笠原長清は小笠原庄を拠点とした。現在、小笠原小学校の校庭西側に館跡の碑が建つ。付近には「御所庭(ごしょのにわ)」、「的場」などの地名が残る。市指定史跡。



2 小笠原長清公祠堂

京都で没した長清の遺骨を家臣が埋葬した墓と伝わる。山寺八幡神社の北東に位置する。明治になって石棺が発見されたことから、明治期に祠堂が造営され、墓碑が建てられた。



3 加賀美遠光館跡(法善寺)

逸見清光の三男、加賀美遠光の館は現在の法善寺に位置したといわれる。法善寺は遠光の孫、遠経が館跡に移したとされる。市指定史跡。



4 加賀美遠光公廟所

法善寺の南の少し離れたところにある。遠光大明神と呼ばれている。



5 秋山光朝館跡(熊野神社)

加賀美遠光の長男、秋山光朝は現在の甲西地区秋山を拠点とし、その館は熊野神社を中心とした地域にあったとされる。市指定文化財。境内からは慶安年間(1648~1652)に経筒などが発見され、県の文化財に指定されている。



6 秋山氏廟所(光昌寺)

光朝館跡の南側に光朝が菩提寺としたという光昌寺がある。廟所は境内南側にあり、光朝の父加賀美遠光、光朝、同夫人の墓と伝える五輪塔が立つ。霊屋には遠光・光朝父子の木像が安置される。五輪塔・木像ともに市指定文化財。



7 中野城跡

加賀美遠光の長男秋山光朝の詰城といわれる。源頼朝に疎まれた光朝が、鎌倉勢に攻められここで自害したと伝わる。

8 雨鳴城跡

中野城と尾根続きで、光朝の詰城といわれるが、戦国時代の城との見解もある。土塁や空堀で区画された曲輪がみられる。

12 宮沢中村遺跡

大師東丹保遺跡と同時期の水田が発見され、護岸のための杭列と、網代が見つかった。中世洪水地帯の農業の営みがわかる遺跡。

